



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウストゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：ニノ湯智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口座 01000-4-62360

平成24年 **6** 月号
No.246

京都の智恵を日本に活かす。
ニノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

一体改革法案、自民案でまとまる マニフェスト撤回 民主党造反者続出か



全議員・選挙区支部長懇談会で一体改革法案に理解を求める谷垣総裁

近づくと解散総選挙

今国会の最重要法案である社会保障と税の一体改革法案は15日未明、自民、民主、公明の3党が修正に合意した。高齢化時代を迎え、社会保障に多くの財源が必要である。更に、財源不足によって本来絶対に必要な防衛費、社会資本整備に金が回らなくなってきた。国家として憂慮すべき状態である。従って自民党は消費税については、概ね賛成であるが、その使い道には、十分な議論が必要であるという立場であった。そのため民主党のバラマキ的な社会保障政策を棚上げさせ、自民党の案を中心に修正案をまとめた。自民党は、修正案を21日に衆議院で採決するように厳しく迫ったが、民主党の党内事情で約束は実行されなかった。21日に3党幹事長が会談、速やかに今国会で成立を図ると改めることを確認書を交わした。速やかには何時になるのか。今や民主党は分裂状態で統治能力がなく、この混乱状態を解消するには解散総選挙しかない。

恒心

★リーマンショック以降の不況と民主党政権の誕生で生活保護の受給者がうなぎ登りに上昇している。行き過ぎた生活保護が大きな社会問題となっている。大阪市を筆頭に、大都市では一般会計の10%以上が生活保護の支出となり、この予算をいかに抑えるかが自治体の重要な課題である。★さらにその上、吉本興業所属のお笑いタレント「次長課長」と河本準一さんの母親が生活保護を受けていたことが明るみに出て、生活保護のあり方が改めて問題になっている。子である河本さんは高額所得者。社会の常識からすれば、当然、子である河本さんが扶養すべきと思うが、法的には強制的な扶養義務がなく、不正受給ではない。★生活保護費を抑制するために、2親等以内の人に、もっと強く扶養義務を課すかどうか疑問である。本当に生活保護が必要な人が、役所の窓口で、貴方には祖父母、親兄妹がいるじゃないですか、役所に相談する前に、親族にお願いしなさいと言われてしまい、受給できなくなる恐れがある。★確かに親族は本人に一番身近な人である。それには人間関係が上手くいっているという前提条件がつく。残念ながら今の日本にはかつてのような支えあう人間関係が消えつつあるのが現状である。兄妹は他人の始まりと言うが、高齢になっても祖父母、両親と一緒に住んで居た時のような美しい関係は珍しい。★生活保護は必要な人には給付をしなければならぬ。しかし不正受給、または不正受給を手助けすることも厳しく罰せなければならぬ。更に不正受給を監視する体制も作る必要がある。役所だけでは不正を見抜けない。通報制度なども一つの方法ではないかと思う。

経済産業委員会

4月20日、参議院本会議で田中防衛、前田国土交通大臣の問責決議が可決されて以来、参議院では全ての委員会審議が止まっていた。内閣改造で2大臣が退陣したので、6月14日から参議院の委員会が一斉に開かれた。二ノ湯議員は経済産業委員会に質問に立ち、当面の電力問題に対する政府の考えを質した。

○二ノ湯智君

原子力発電に関する見解について伺います。枝野大臣は、脱原発の発言が多く目立ちました。大飯の三、四号機の再稼働について、地元はもちろん周辺の府県の同意まで必要だ。一方官房長官は、そんなことは法的な義務になっていないと見解が分かれる。そういうことが地元の原子力問題に対する不信感を増幅させてしまったのではないですか。

○国務大臣(枝野幸男君)

官房長官の発言は、停止中の原子力発電所の再稼働について、法律などの枠組みで何らかの同意が義務付けられている訳ではないという客観的事実を述べられたものと承知をしております。私も全く同じ認識でございます。一方で、私は、福島事故を受けて、立地自治体の御理解が何よりも重要であります。周辺自治

体に対しても、再稼働ありきでなく、あくまでも安全性の確認を大前提としている政府の姿勢をしっかりとお伝えし、理解を求めていく努力をすることが必要であると申し上げたものであります。

○二ノ湯智君

大飯の再稼働をめぐって、4月6日4大臣によって原子力発電所の再稼働に当たって安全性に関する判断基準を定め、この基準に基づいて4月13日に国として再稼働の方向で地元の理解を求めると、決定されました。30項目にわたる安全基準を定めたということですが、この安全基準を関西電力はほぼ満たしたと、理解していいんでしょうか。

○国務大臣(枝野幸男君)

4大臣会合においては、この約一年間の専門家による議論の結果、それに基づく対応などを分かりやすく提示するため判断基準として整理をしたところでございます。この判断基準は、全交流電源対策や津波対策を含め、福島のような地震、津波に襲われても燃料損傷に至らない十分な安全性が確保されていることを確認しているところでございます。それを超えて更なる安全性を高めていく部分のことについては関西電力に実施計画を提出をさせ、確認をしています。

○二ノ湯智君

5月18日に、有識者による需給検証委員会が夏の各電力会社の需給予測を公表しました。全国的には予備率は0.1、しか

し関西電力ではマイナス14.9%になるという結果で、昨年の東京電力の電力事情以上に非常に厳しい結果となっております。関西電力は原発に40%以上依存しており、検証委員会の検証をまつまでもなく、非常に厳しいと、言われていました。遅きに失した検証委員会の報告と思いません。なぜもっと早く需給予測を明らかにし、再稼働の要請に踏み切れなかったのですか。

○国務大臣(枝野幸男君)

経済産業省において電力需給の見通しについて精査してきたところでございます。内外において、本当にそれが正しいのか、埋蔵電力がもつとあるのではないかとという国民の声がございます。そうした声に真摯にこたえるためには、経済産業省内部にとどまらず、第三者から成る客観的精査が必要であろうということ、経済産業省の外側で、内閣府の下で需給検証をお願いを致しました。

○二ノ湯智君

今年の夏が非常に厳しいということは共通の認識でありました。需給検証委員会には、脱原発、反原発のメンバーの方も入っておられます。自然エネルギーで全部賄えるんだ、電力会社は情報開示していないという検証委員会の主張に政府が振り回されている印象を持つのですが。

○国務大臣(枝野幸男君)

私、昨年の今ごろ、埋蔵電力がもつとあるのではないかと思っております。

その後、経産大臣という立場に就き、様々検討、調査し、埋蔵電力はないと確信、認識をしました。国民の多くは埋蔵電力があると思われている。そうした中で、埋蔵電力があるという立場の皆さん方にも積極的に加わっていただきました。その結果、当初埋蔵電力等があると言われていたかなりの方にもやはりなかなか難しいとの御理解をいただきました。

○二ノ湯智君

大臣も埋蔵電力があると思われたのですから、世間が自然エネルギーで全て原発の不足分を賄えると、錯覚に陥ったことは理解できます。しかも、反原発の人、自然エネルギーの推進の学者も、色々と検討したけれども、各電力会社の言っていることに嘘はないことが分かっただけでも大変な進歩ではないか。それにしても、非常に厳しいということが共通認識になったけれども、昭和40年代後半のオイルショックのときは、テレビ局は深夜放送はやめる、町のネオンは消える、非常に厳しいなど国民が認識した。今は、厳しい厳しいと言いつつ何となくうまく乗り切れるんじゃないかという、国民にも安心感があり、政府も電力の使用制限を求めるといふ姿勢にやや欠けるんじゃないか、と思えます。

○国務大臣(枝野幸男君)

報道等はいろいろ躍っておりますが、例えば大飯原子力発電所が、その出力がフル稼働をして供給力として計算が立

つのかどうかというのはまだ分かりません。仮にそうなるとしても、その時期がいつになるのかは分かりません。したがって、関西地域に15%の目標で節電をお願いをしているという状況は、少なくとも現時点では全く変わっていないという状況でございます。残念ながら、何かもう既に原発が動いて、すぐに供給力が増すのではないかとという認識をされている方がいらつしゃるとしたら、まずそのことが誤解であることを解くために最大限努力をしなければならぬと思っております。いよいよ実際に日々の生活その他のところでスイッチを切ってください、あるいは冷房温度を高めにしてくださいと具体的な行動をお願いをする時期がいよいよ近づいてまいります。それに合わせて国民の皆さんに具体的な行動、協力を強くお願いをさせていただく段階に入ってきていると思っております。

○二ノ湯智君

大飯の原発の再稼働は、不承不承、仕方ないだろうと、大方の国民の気持ちじゃないかと思いますが、京都府と滋賀県の知事は、今回の再稼働は今年の夏の厳しい電力需要を考えればやむを得ないけれども、これは一時的なもの、述べております。政府としては、今回の3号機、4号機は継続的な稼働、あるいは、一時的なもの、思っておられるのか、お伺いします。

○国務大臣(枝野幸男君)

再稼働に当たって特に必要性の観点で考慮すべきことは、夏場の短期的な電力需給がまさに一番直近で問題になる課題であります。同時に、化石燃料への依存度を増やして電力価格が上昇すれば、ぎりぎりの経営を行っている小売店や中小企業あるいは御家庭にも影響が及びます。また、空洞化を加速して雇用の場が失われてしまう可能性もあります。さらには、エネルギー安全保障という観点もあります。したがって、安全性について確認ができていないものを夏場の必要性が高いからということで臨時的に稼働させるという考え方には政府として立っておりませんし、立つべきではないと思っております。またそうした認識では、特に万が一の場合影響を受ける立地自治体の皆さんに到底御理解をいただけるとは思いません。私どもの判断は、安全性を踏まえて、原子力発電所の稼働は13ヶ月で定期検査に入りますから、13ヶ月間稼働させていただくという判断をしたということでございます。



夏の電力問題を質す二ノ湯議員

京都府連、橋村幹事長が辞任
後任に内海貴夫京都市議



内海貴夫氏

自民党京都府連の橋村芳和幹事長は今年の市長選挙で門川陣営の事務長として采配を振るい、門川大作氏の再選に大きな役割を果たした。しかし、最近体調を崩し、このままの状態では、年内にも予想される総選挙、来年の参議院選挙に幹

事長として十分に職責を全うすることができないと判断、このほど二ノ湯会長宛てに辞任届を提出した。橋村幹事長の出身母体である京都市会議員団では、早速会議を開き、後任の幹事長候補の選考に入り、内海貴夫(68才・東山区)氏を推薦した。5月27日に開催された自民党京都府連役員総会で承認され、幹事長に就任した。内海氏は奥田幹生元衆議院議員の秘書から、平成4年、補欠選挙で京都市会議員に初当選、以後連続5期当選、平成19年京都市会議長に就任した。当選当初から環境問題に熱心に取り組んでいる。現在、自民党京都府連広報委員長。

全議員・選挙区支部長懇談会

厳しい意見が続出

税と社会保障に関する3党合意を受けて、全議員、選挙区支部長にも早急に説明し、理解を求めなければならぬという意見が、14日の総務会では出された。18日(月)午前8時という急遽の設定であったが、会場に入りきれない程の参加者であふれ返っていた。この問題に対する関心の深さを表していた。当日出された主な意見は次の通りである。

- 消費税増税は止むを得ない。
- 我が党と民主党の違いが判らない。
- デフレ脱却、景気対策の計画表を作るべきだ。
- 民主党の最低年金保障、後期高齢者医療制度の撤廃公約は撤回出来たのか。

- 民主党に妥協するのは良くない。
- 増税だけ決めて社会保障の棚上げはおかしい。
- 中小企業の経営者は大変心配している。景気回復条項を国民は知らない。
- なぜ合意したのか判り易く説明して欲しい。
- 理念の違う民主党との大連立は止めて欲しい。
- 解散総選挙に追い込むと総裁は言っているが、何時になるのか、解散の約束は取れているのか。
- 自民党に政権が戻ったら、何をするのか教えて欲しい。
- 消費税を8、10%と小刻みに上げるのではなく、一度に5%を上げて欲しい。
- また新しく設置される国民会議の位置付けは。
- 社会保障制度の在り方を検討する国民会議は解散延長に使われないか。
- 今の政治を転換しなければならぬ。

'12夏まつりのご案内

参議院議員 **二ノ湯さとし** 京都府議会議員 **二ノ湯しんじ** 後援会合同夏祭り

ご好評いただいております恒例のビアパーティを開催いたします。
是非ともご参加ください!!

日時 **8月1日水 16:00▶21:00** 16:00から20:30まで自由に入場できます▶

ごあいさつ
【第1回目】17:30 【第2回目】19:00

場所 **ホテルグランヴィア京都**(JR 京都駅ビル内)
お食事……3F宴会場 イベント……5F宴会場

お一人様 **5,000円**

お問い合わせ：二ノ湯さとし京都事務所
お申し込み先：TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310



来夏の参議院選京都選挙区 自民党西田昌司氏を公認申請



来年夏に第23回参議院議員通常選挙が行われる。自民党本部は、各都道府県支部に対して、6月末までに推薦候補を決定し、党本部に上申するようにとの通達を出した。候補者を選考するに当たっては、例え現職であっても党員が広く参加でき、透明性の高い方式で決定するようにと条件が付けられていた。早速、京都府連では、二ノ湯会長を委員長とす

る「参議院議員通常選挙公認予定候補者選考委員会」を設置し、候補者を募集する範囲を府会議員、京都市会議員に限定し、各議員に立候補の意思の有無を確認することにしたが、意思表示は現職の西田昌司氏のみであった。選挙対策委員会では西田昌司氏を候補者に決定したが党員の参加意識を高める為に、6月23日の党大会に参加する代議員に対し、葉書を郵送、府連の決定に対して、18日必着で賛否を問うことにした。19日に二ノ湯委員長立ち会いの下、開票し97・4%という圧倒的賛成であった。23日の定期大会で信任投票の結果が報告され、西田昌司氏が決意表明をした。

身辺雑記

一、党内で議論を重ね党議決定した消費税法案に賛成できないと主張する小沢一郎氏。理解下さいと再三頭を下げる野田総理。多くの国民は民主党は一体どうなっているのかと理解に苦しんでいる。所詮は同床異夢、野合の政党か。

逃亡生活に疲れ果てたのか、2人共、容貌は一変し、まるで別人である。菊地は、ほっとしている感じ。高橋は今なおオウムとの関係があるようだ。

一、参議院予算委員長の石井一氏が虚偽の渡航日程の責任を取って辞任した。代って誰がなるのか注目していたら柳田前法務大臣。この人、法務大臣は二つの答弁だけを覚えておいたらいいと失言し、国会軽視の責任をとって辞任した人。

一、ギリシャの再選挙では財政再建を図るため緊縮策を主張する勢力が勝利した。遠い欧州とは言え、日本経済への悪影響は免れた。公務員の数の多さ、恵ま

一、元オウム真理教菊地直子、高橋克也容疑者が相次いで逮捕された。17年間の

か、我々も対岸の火事で済まされたい。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいませようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

「日本真生塾」第21回・第22回例会のお知らせ

平成24年6月25日(月) 18時～21時

平成24年7月30日(月) 18時～21時

場所：龍谷大学アバンティ響都ホール(京都駅八条口前アバンティ9F)

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

<お問い合わせは事務局へ>(担当：近藤)
TEL：050-7544-4018 メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp

内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾で検索。

日本真生塾 塾長 岡本幸治